

# 教育相談だより

## 子どもの変化を早期に把握、すみやかな対応！

子どもたちは、新しい園や学校、教室の中で緊張しながら生活をしています。自分の思いや考えをうまく表現できず、悩んでいる子どもも少なくないと思います。緊張や不安による疲れは、心や体に現れます。本人は気付かずに頑張っている生活していても、限界はやって来ます。

そこで、周りの大人(親)が子どもの変化に気づいて適切な対応をすることで、子どもの緊張や不安を少しでも軽くしてあげることができます。子どもの変化を早期に把握し、すみやかに対応することは大人(親)の役目です。

### <行動の変化の視点>

家 庭 で	学 校 で
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、起きられない。夜、寝付けない。</li> <li>・登校を渋る。</li> <li>・不安を訴える。</li> <li>・急に抱きついたり、甘えたりする。</li> <li>・気分の浮き沈みが激しい。</li> <li>・話をしなくなる。返事もしなくなる。</li> <li>・自分で考え、判断することを面倒がる。</li> <li>・いつもイライラしている。</li> <li>・食欲不振や過食が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、早退が多くなる。</li> <li>・よく体調の不調を訴え、保健室に行く。</li> <li>・挨拶の声が小さくなる。</li> <li>・目を合わせて話をしなくなる。</li> <li>・集中して学習することができなくなる。</li> <li>・休み時間一人で過ごすことが多くなる。</li> <li>・急に大きな声を出すことがある。</li> <li>・少しのことで友だちと争う。</li> <li>・約束や決まりをやぶるようになる。</li> </ul>

子どもの変化に気づいたら、一人で解決しようとせず、力を合わせて解決しましょう。

いつでもご相談ください！⇒ 学校、教育相談室(56-3013)、こども教育課(55-0344)へ！

## ◇◇◇ 子どもの「自立」を育てる4つのポイント ◇◇◇◇◇◇◇◇◇

### 1. 生活のきまりを自分で決めさせる。

起床・就寝時刻やゲームの時間などのきまりを子ども自身に決めさせ、その結果を自分で考えさせます(守れなかった場合、今後どうするかなど)。

### 2. 大人(親)の思いや考えを押しつける指示などは決してしない。

「～しなさい。(指示、命令)」 「～してはいけません。(禁止)」と言われ続けると、人の言いなりになったり人の考えに左右されやすくなったりして、自分から行動しない子どもになります(「勉強やりなさい」と言い続けると、勉強嫌いの子どもになるのがよい例です)。

### 3. 活動の過程を称賛する。

「頑張っている姿は素晴らしいね」「努力はきっと大きな力になるよ」と励まされることで、今度も頑張ろうという気持ちが出てきます。

### 4. 失敗は大切なことであることを教える。

「失敗から多くを学んだよ」「できないことがあるからチャレンジするんだ」と教えられること、失敗を恐れず新たなものへチャレンジしようとする意欲が生まれます。

## 「むごい教育」とは?!

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

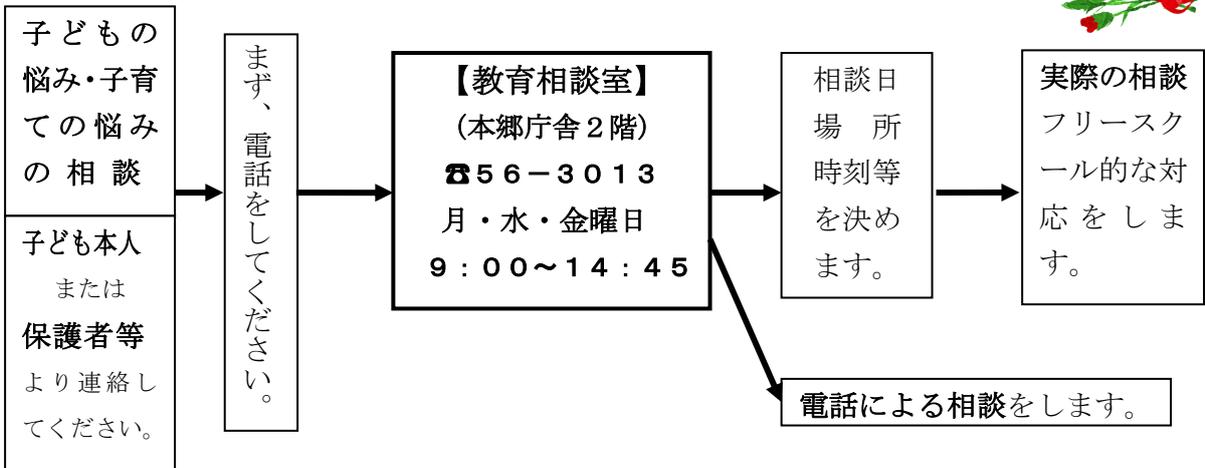
あなたは、子どもの養育係に任命されました。  
「この子どもにむごい教育をせよ。」  
と命じられたら、あなたはどうしますか。

戦国時代、今川義元が、のちの徳川家康を11年間人質に取っていたときのことで、  
今川義元は、家来を呼び、こう命じました。  
「人質の竹千代（家康の幼名）には、むごい教育をせよ。」  
「ははーっ、かしこまりました。」  
家来たちは、朝から晩まで、休む間もなく竹千代を鍛え上げ、一日が終わった頃には竹千代は、便所で腰を下ろせなくなるほどでした。  
しばらくして今川義元は、竹千代の養育係を呼び、こう言いました。  
「言いつけ通り、むごい教育をしておるか？」  
「はい、それはもちろんでございます。朝起きてからすべて駆け足で行動させ、食事も粗末な野戦食、休憩もなく剣術、馬術、武術と休む暇も与えておりません。」  
と、養育係は得意げに報告しました。すると今川義元は、  
「・・・、この大馬鹿者!!! お前たちは、余の言っていることが分らんのか!!!」  
「竹千代には、今日から、食事には山海の珍味が入っている最高のご馳走を与えよ。寝たいといったらいくらでも寝させてやれ。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてやれ。学問が嫌なら、やらせるな。それからいつも美女を与え、遊ばせておけ。何事も好きかってにさせよ。」  
と、それはそれは激怒したそうです。

「むごい教育」とは、要するに「腑抜けにしろ」と言うことだったのです。  
困難、悩み、試練、辛さ、苦しみが成長の糧となり、強く優しい人間を育てます。愛情のあまり、過剰なサポートをして「むごい教育」をしていませんか？

## 教育相談室の活用の仕方!

.....



【上記の曜日、時間以外は、こども教育課担当（小野）55-0344へ】